



(別紙)

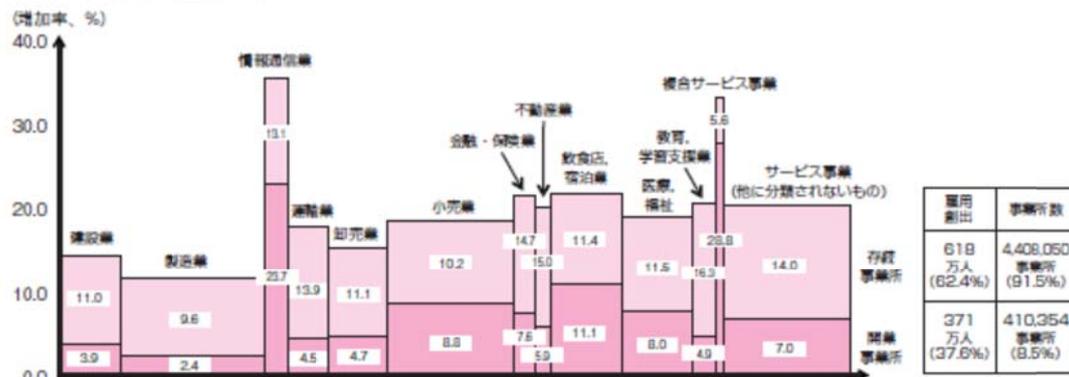
中小企業白書 (2011 年版)

コラム 3-1-2 図 総務省「経済センサス基礎調査」を用いた雇用創出の算出

新しく創設された経済センサス基礎調査を用いて、2006～2009 年の開業及び存続事業所による雇用変動を算出したものが、コラム 3-1-2 図である。これによると、開業事業所 410,354 事業所(2009 年時点の事業所の 8.5%に該当)が約 371 万人(37.6%)の雇用を、存続事業所 4,408,050 事業所(2009 年時点の事業所の 91.5%に該当)約 618 万人(62.4%)の雇用を増大させていることが分かり、雇用が特に開業事業所で増加していることが分かる。

コラム3-1-2図 開業及び存続事業所による雇用創出 (2006～2009年、事業所単位)

～雇用は、開業事業所で増加している～



資料：総務省「事業所・企業統計調査」、「経済センサス基礎調査」再編加工 (中小企業行試算)

(注) 1. 横軸は、2006年期首の全事業所 (非一次産業) に占める各業種の従業者の割合を示している。

期首の従業者数は、存続事業所及び廃業事業所から算出した。

2. 鉱業及び電気・ガス・熱供給・水道業は、従業者数が少なく、表示されていない。

3. 事業所単位の廃業には、支所や工場の開設及び移転による開設を含む。

4. 廃業事業所については、2009年時点の従業者数を、存続事業所については、平成18年事業所・企業統計調査と接続可能な事業所の雇用変動分を用いて算出している。存続事業所は、事業所・企業統計調査における調査範囲に限定されるため、存続事業所による雇用増加が過小に算出されている可能性がある。

5. 存続事業所4,408,050事業所のうち、雇用創出に寄与している事業所数は、1,085,387事業所。

(「中小企業白書 (2011 年版)」より抜粋)